

甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成31年3月8日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（20名）

委員長	金丸幸司君	副委員長	横山洋介君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	清水和弘君		滝川美幸君
	五味武彦君		金丸寛君
	赤澤厚君		小澤重則君
	清水正二君		斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君		山本英俊君
	内藤久歳君		藤原正夫君
	小浦宗光君		保坂芳子君

欠席委員（1名）

松井豊君

傍聴議員（1名）

議長 長谷部集君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

審査内容

1 正副委員長の互選

開会 午前10時49分

○書記（輿石文明君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、先ほど議長より招集がありました。案件は、正副委員長の互選となります。臨時の委員長は、委員会条例により年長の小浦委員にお願いをしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、小浦委員、よろしくお願いいたします。

○臨時委員長（小浦宗光君） 本日の委員会は、予算審査特別委員会設置後初めての委員会です。委員会の規定によりまして、委員長が決まるまでの間、年長の私が委員長の職を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は20名であります。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会します。

なお、松井委員は欠席でありますので、報告いたします。

本日の会議を開きます。

これより委員長の互選を行いたいと思います。

お諮りいたします。委員長の互選については、会議規則の規定により、指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

それでは、どなたかご発言ありますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 金丸幸司委員を推選したいと思います。

○臨時委員長（小浦宗光君） ただいま保坂委員から金丸幸司委員の推薦がありました。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

それでは、委員長を指名いたします。

予算審査特別委員会委員長には金丸幸司委員を指名いたします。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小浦宗光君） ご異議なしと認めます。

よって、予算審査特別委員会委員長には金丸幸司委員が当選されました。

ただいま当選されました金丸幸司委員長より就任の挨拶があります。

ここで委員長と交代いたします。

どうもありがとうございました。

〔臨時委員長、委員長と交代〕

○委員長（金丸幸司君） ただいま委員の皆様によりご推選をいただきました金丸幸司です。

微力ではありますが、円滑な委員会運営を進めてまいり所存でありますので、各委員の皆様方のご協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

引き続き、副委員長の互選を行います。

副委員長の互選も委員長と同様、会議規則第126条第5項の規定により、指名推選によりたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） ご異議なしと認めます。

したがって、副委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りいたします。副委員長の指名方法は、委員長において指名することにいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長の指名方法は、委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、副委員長を指名いたします。

副委員長には横山洋介委員を指名いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） ご異議なしと認め、副委員長には横山洋介委員が当選されました。

ただいま当選なされました横山洋介副委員長より就任のご挨拶があります。

横山委員。

○副委員長（横山洋介君） ただいま副委員長にご推挙いただきました横山です。どうもありがとうございます。

2人とも委員長含めて40代ということで、精いっぱい頑張っておりますので、若い2人をぜひよろしくお願ひします。

ありがとうございます。

○委員長（金丸幸司君） 副委員長のご活躍をご期待申し上げます。

次に、審査日程について、事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、お手元の審査日程（案）横版の1枚ものをお願いいたします。

予算審査は来週11日から18日までの5日間で行います。いずれも午前9時30分開会でございます。

11日月曜日は一般会計の歳出で、企画政策部長の概要説明から敷島・双葉支所までとなります。翌12日火曜日は中学校卒業式のため休会でございます。翌13日水曜日が市民窓口課から環境課まで、翌14日木曜日が商工観光課から教育総務課まででございます。翌15日金曜日が学校教育課から収納課まで、歳入と特別会計2件の審査になります。16日、17日は土日のため休会でございます。翌18日月曜日が残りの特別会計等の審査となります。なお、翌19日は委員会の予備日となります。

月曜日から、お手元に配付してあります審査日程（予定）のほうで審査を行いますので、よろしくお願ひいたします。

説明は以上です。

○委員長（金丸幸司君） それでは、先ほどの事務局の説明に対して質疑等がありましたら、お願ひいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、質疑を終了いたします。

それでは、この日程により行うことに決定してよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） それでは、そのように決定いたします。

以上で、審査日程についてを終わります。

○委員長（金丸幸司君） これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会させていただきます。

ご苦労さまでした。

○副委員長（横山洋介君） ご起立ください。

相互に礼。

閉会 午前10時57分